

各 位

国立民族学博物館
一般社団法人ナレッジキャピタル



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

**KNOWLEDGE
CAPITAL** 

国立民族学博物館と一般社団法人ナレッジキャピタルが 連携協力協定を締結

市民向け連続講座「みんなく×ナレッジキャピタル『イメージの力』をさぐる」を共催

国立民族学博物館（大阪府吹田市：館長 須藤健一）と一般社団法人ナレッジキャピタル（大阪府大阪市：代表理事 宮原秀夫）は、研究、教育、文化、知的財産の活用等の各分野で協力し、地域社会の発展、人材の育成に寄与することを目的として、本日、包括的な協定を締結いたしましたのでご案内申し上げます。

■連携協力協定に関する事項

- （１）文化人類学・民族学とその周辺諸分野の研究成果の公開（アウトリーチ活動）に関する事項
- （２）展覧会、講演会、シンポジウム、ワークショップ等の共同開発および実施に関する事項
- （３）その他前事項の目的を実現するために必要な事項

■協定締結の目的

- （１）国立民族学博物館：経済の中心地であり、文化の発信地である大阪・梅田で、文化人類学・民族学の最先端の研究成果を社会に還元するとともに、知的創造拠点ナレッジキャピタルでの人的、物的な交流が可能となる。
- （２）ナレッジキャピタル：文化人類学や民族学における最先端の研究成果を取り入れ、多様な「知」の交流によるイノベーションを促進する。また、一般来場者層の幅を広げ、知的好奇心を刺激する機会を提供することで、ナレッジキャピタルのミッションの一つである「文化発信」および「人材育成」を強化する。

■今後、想定される連携・協力事項

- （１）国立民族学博物館およびナレッジキャピタルの共同企画による展覧会、シンポジウム、講演会、ワークショップ等の開催
- （２）両者による新たな展示方法などの共同開発
- （３）国立民族学博物館の研究者とナレッジキャピタル参画者との交流による新たな価値の創出

なお、本協定を受け、国立民族博物館と一般社団法人ナレッジキャピタルによる第一弾の取り組みとして、下記の通り、共催講座を開催いたします。

<開催概要> みんなく×ナレッジキャピタル 「イメージの力」をさぐる

2014年9月12日（金）より11月26日（水）の期間、全6回シリーズとして、ナレッジキャピタルを会場に、国立民族学博物館で2014年9月11日から開催する特別展「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」と連動した連続講座を開催します。本講座は、誰もが参加しやすいカフェという場で開催し、市民と研究者が交わる機会を提供します。

	開催日	テーマ	講師
第1回	9月12日(金)	みえない力をあやつる—仮面・神像・装身具	吉田憲司・民博教授
第2回	9月24日(水)	みんなく40周年と「イメージの力」	須藤健一・民博館長
第3回	10月15日(水)	人類の美の追求—ガラスビーズと鳥の羽の世界	池谷和信・民博教授
特別展ツアー	10月26日(日)	国立民族学博物館ツアー	吉田憲司・民博教授
第4回	10月29日(水)	描かれた時間	山中由里子・民博准教授
第5回	11月12日(水)	イメージと商品化	齋藤玲子・民博助教
第6回	11月26日(水)	色と光が放つイメージ	上羽陽子・民博准教授

名称： みんなく×ナレッジキャピタル 「イメージの力」をさぐる

時間： 19:00～20:30（10月26日のみ13:00～14:30）

場所： グランフロント大阪北館1階ナレッジキャピタル CAFE Lab.
（10月26日のみ国立民族学博物館特別展示館）

対象： 中学生以上

定員： 50名／要事前申込（専用ウェブサイトより申込）

参加費： 500円（ワンドリンク代）

主催： 国立民族学博物館、一般社団法人ナレッジキャピタル

一般お問い合わせ： 一般社団法人ナレッジキャピタル 06-6372-6530（受付10:00～18:00）

■「国立民族学博物館（みんなく）」について

1974年6月に創設し、1977年11月に開館した博物館をもつ研究所です。文化人類学・民族学に関する調査・研究をおこなうとともに、民族資料の収集・整理・公開などの活動をすすめて、世界の諸民族の社会と文化に関する情報を人々に提供し、諸民族についての認識と理解を深めることを目的としています。今年2014年には、創設40周年を迎え、9月11日から40周年記念特別展として「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」展を開催します。



■「ナレッジキャピタル」について

2013年4月26日に開業したグランフロント大阪の中核施設。ナレッジキャピタルは、「感性」と「技術」の融合により「新たな価値」を創造する知的創造拠点です。一般生活者から世界一の技術を持つ人や会社まで、さまざまな人々の変わりから、今までにない商品、サービスや人材などを生み出すことを目指します。多様な用途の場（施設）と、コラボレーションを促進させる機能（人的支援）を提供し、「産業創出」「文化発信」「国際交流」「人材育成」を図ります。

